

2022年6月7日

関係者 各位

東京都小学生バレーボール連盟

競技委員長 今泉 武志

審判委員長 及川 千春

第42回 全日本バレーボール小学生大会
東京都大会

競技・審判上の注意事項について

今大会では、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策・熱中症対策といたしまして、以下のように対応を考えました。（ は感染対策緩和に伴う、昨年度からの変更点と、今年度の熱中症対策です。）

各会場の大会責任者や競技責任者、審判責任者の判断や指示に従い、柔軟に対応をお願いします。

別途、競技上の注意事項も必ずお読みください。

マスクの使用について

- プレー中の選手は、マスクを外しても良い。外した場合、ネット際の発声は控える。
- 試合中、ベンチスタッフ・控えの選手は、マスクを着用する。チームの発声はチームスタッフの指示のみとし、他は拍手での応援とすること。（発声をしない場合は、マスクを外しても良い。）
- 審判員は、通常のホイッスルを使用する際は、その上にマスクを着用する。（不織布マスクを推奨します。） チームのタイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間は、水分補給をする。レフェリースタンド、スコアラーステーブルに水分を持参すること。
ラインジャッジ・点示を行う児童も同様に、水分を持参しておくこと。（マスク着用については、個人またはチームの判断とする。）

ホイッスルの使用について

通常のホイッスルの使用を可能とする。ただし、その上からマスクを着用すること。（不織布マスクを推奨します。） また、電子ホイッスルとの併用も可能とします。

◀ 電子ホイッスルを使用する場合の注意点 ▶

- 接続するコートでの使用の場合は、音色に注意するよう、トスの際、チームに伝えます。

- 両チームに聞こえるように、長めにホイッスルをします。
- プレーが止まらない場合は、再ホイッスル、ネットを揺らす等、工夫して、必ず止めます。
- ハンドシグナルを出す際は、何の判定を出しているか、チームにわかりやすいように出します。
左右の持ち替えが必要ならば、臨機応変に対応してください。
- 使用前後の電子ホイッスルは、必ず消毒をします。(スコアラーステーブルにあります。)

※電子ホイッスルの破損・電池切れ等、使用不可となった場合のため、ご自身のホイッスルを持参願います。

試合前後の握手

監督・選手・審判との握手は行わない。

試合前後のあいさつ

ネット付近に駆け寄らず、エンドラインに並んだ状態であいさつ後、健闘を称える拍手をする。

ト ス

必要最低限の会話に留め、握手は行わない。

タイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。
- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけを行い、使用後には持ち手の消毒をしてください。

テクニカルタイムアウト

- 通常通り、30秒間とします。
- 7点・14点の2回とします。3セット目は、8点。(今大会は11点ではありません。)
(デュースの場合はどちらかのチームが、25点となった時点。以降、7点積み重ねで適用。
3セット目は、どちらかのチームが、21点となった時点。以降、7点積み重ねで適用。)
- コートのモップがけを行い、使用後には持ち手の消毒をしてください。

※テクニカルタイムアウトは給水を目的としたタイムアウトです。チームスタッフが選手に話しかける必要があるときは、ベンチ横まで出向いてください。(戦術的なタイムアウトではありません。)
また、選手の輪の中に飲み物が無いときや、選手が給水していないと審判員が判断した場合には、お声掛けをすることがあります。

インターバル(セット間)

- 通常通り、3分とします。(前のセットのボールデッドから2分30秒でホイッスル)
各セット終了時(エンドラインに整列後)、コート内の選手は通常のコートチェンジとします。
控えの選手とベンチスタッフは、各チームでベンチの消毒を行い、各自の荷物を持ち、セカンドレフェリーの合図で、コートチェンジをします。
(登録選手が少なく、荷物の移動が難しい場合は、一部の選手がベンチに戻ることも可能とする。)

- 選手同士が密にならないように、ベンチ前に広がっていても許容します。
- コートのモップがけを行い、使用後には持ち手の消毒をしてください。

その他

- ① うちわ
 - ・タイムアウト・テクニカルタイムアウト・セット間のみ使用を認める。
- ② ボールペン
 - ・使用者がそれぞれのボールペンを使用してください。各チームでの準備をお願いします。
 - スコアラーズテーブルで貸した場合は、必ず消毒をしてください。
- ③ ラインジャッジ用フラッグ
 - ・各チームで持参をお願いします。(会場の物を使用する場合は、使用前後に必ず消毒をすること。)
- ④ ボール
 - ・使い捨ての手袋とペーパータオルを使用して、消毒をします。
 - (消毒の担当者やタイミングは、各会場のミーティングで必ず確認をしてください。)
- ⑤ 得点板
 - ・多数の人が触れるので、使用前後は消毒を行います。
- ⑥ チームベンチ (消毒の準備は、各チームでお願いしています。)
 - ・ベンチは椅子9脚を互い違いに置き、アップをする選手以外は、着席をします。
 - ウォームアップエリアは通常通り設けます。(各会場の規模により対応が変わることがあります。)
- ⑦ ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・スコアラーは、レフェリースタンド、スコアラーズテーブル (机・椅子) の消毒を毎試合終了後、行ってください。
- ⑧ 試合中は、ワイピングタオルをコート内の選手1名以上が持ち、汗等で濡れた床を拭くこと。

(※ _____ は、今年度のルールブック修正点を表す。)

競技・審判運営に関して、何かお気づきのことがございましたら、大会前は、競技・審判各委員長に、お問い合わせください。大会当日は、当日の会場責任者の指示に従ってください。